

鮮やかなメカニック、音楽に尽くすテクニックを会得した上で、ジャンルをひらりと飛び越える新世代アーティストに喝采が送られている。古き良き時代の流儀を愛でるかと思えば、解釈が尽出したかに見える古典やロマン派の名曲に新たな光をあてる今どきの名手たち。

オープンマインドな活動方針で知られるオランダの名門オーケストラ、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団と創造の地平を拓く1989年テルアビブ出身の若き指揮者ラハフ・シャニ（2018年からロッテルダム・フィルのシェフ）もそのひとりだ。コントラバス奏者としてオーケストラを支えた。愛すべきピアニストで協奏曲の「弾き振り」も室内楽もお任せあれ。映像や録音も多い。

何より王道を往く指揮者である。メータやバレンボイムの薫陶を受け

たシャニは、キャリアの黎明期から臆せず壮大なブルックナー、ブラームス、スラヴの調べに腕をふるってきた。本物だ。イスラエル・フィルほかウィーン交響楽団、ロッテルダム・フィル、ドイツの名門オーケストラによるシャニ争奪戦が繰り広げられた。当然だろう。

2025年6月、シャニが選んだのは、ブラームス芸術の美しき夕映えも情熱の発露も素晴らしい交響曲第4番で、これは彼の愛奏曲。おなじみ「新世界より」を仲立ちとしたロッテルダム・フィルとの交歓も客席を喜ばせるはずだ。

俊敏なモダニズムがはやくも聴こえてくるかのようなブルース・リウのプロコフィエフ、つねに真摯な姿勢で楽曲に臨む庄司紗矢香のベートーヴェンも公演の主演を演じる。 奥田佳道（音楽評論家）



ラハフ・シャニ（首席指揮者）
Lahav Shani, Chief Conductor

© Marco Borggreve

ラハフ・シャニは2018年9月に楽団史上最年少でロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任した。2021年からはメータよりイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督の任も引き継いでいる。1989年テルアビブ生まれ。学生時代にダニエル・バレンボイムから薫陶を受け、2013年にグスタフ・マーラー指揮者コンクールで優勝。客演として、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、ロンドン交響楽団等と共演。ベルリン・シュターツカペレ、ベルリン国立歌劇場でも定期的指揮している。ピアニストとしても活躍しており、ヴェルビエ音楽祭等にも参加。



ブルース・リウ（ピアノ）
Bruce Liu, Piano

© Bartek Barczyk

2021年第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール優勝。2024/25年シーズンは、ルクセンブルク・フィルとグスターボ・ヒメノ、ロンドン響とサー・アントニオ・パッパーノ、フランクフルト放響とアラン・アルティノグル、ウィーン響とマリヤ・ジャコ、ロッテルダム・フィルとラハフ・シャニなどと共演。これまでには、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、フィラデルフィア管、NHK響などの主要オーケストラと、ライオン・バンクロフト、チョン・ミョファン、パーヴォ・ヤルヴィ、ファビオ・ルイージ、ヤニック・ネゼ＝セガン、ジャンドレア・ノセダなど著名な指揮者と共演。ドイツ・グラモフォンの専属レコーディング・アーティスト。



庄司紗矢香（ヴァイオリン）
Sayaka Shoji, Violin

© Laura Stevens

唯一無二の芸術的多様性とレパートリーへの緻密なアプローチで、国際的に認められるヴァイオリニスト。キジアーナ音楽院とケルン音楽大学で学び、14歳でルツェルン祝祭管弦楽団との共演でヨーロッパ・デビュー、及びウィーン楽友協会出演。1999年バガニーニ国際コンクールにて史上最年少優勝。以来ズービン・メータ、ロリン・マゼールなど多数の一流指揮者のもと、ベルリン・フィル、マリンスキー管など世界各地の楽団と共演している。2016年、毎日芸術賞を受賞。これまでドイツ・グラモフォンから11枚のアルバムをリリース。また安藤忠雄、杉本博司ほか、他分野の著名な芸術家と意欲的なプロジェクトを行う。使用楽器は上野製楽器株式会社より貸与されているストラディヴァリウス「レカミエ」1729年製。



© Guido Pijper

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団 Rotterdam Philharmonic Orchestra

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団は、極めてエネルギー溢る演奏、高い評価を得ているレコーディング、そして革新的な聴衆へのアプローチで卓越した存在感を放っている。1918年に創立され、ヨーロッパで最も重要なオーケストラのひとつとしての地位を確立している。草創期を経て、同楽団は1930年から首席指揮者を務めたエドゥアルド・フリプセのもと、オランダで最も重要なオーケストラのひとつに成長した。1970年代には、ジャン・フルネとエド・デ・ワルトのもと、国際的な評価を獲得。ヴァレリー・ゲルギエフの就任は新しい時代を開かせた。2018年からはヤニック・ネゼ＝セガンからラハフ・シャニへと引き継がれている。国内外の著名なホールで演奏し、2010年以来、パリのシャンゼリゼ劇場のレジデント・オーケストラとして活躍。世界各地で、教育のための演奏や地域のコミュニティ・プロジェクトなどにより、年間15万から20万人の聴衆に音楽を届けている。

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
2025年日本公演スケジュール

◆ソリスト：ブルース・リウ ★ソリスト：庄司紗矢香

- 6/21(土) 14:00 ザ・シンフォニーホール ◆
【問】ABCチケットインフォメーション TEL 06-6453-6000
- 6/22(日) 14:00 愛知県芸術劇場 ★
【問】CBCテレビ事業部 TEL 052-241-8118
- 6/25(水) 19:00 福井県立音楽堂 ハーモニーホール福井 ◆
【問】ハーモニーホールふくい チケットセンター TEL 0776-38-8282
- 6/29(日) 14:00 所沢ミュージアム アークホール ◆
【問】ミュージアムチケットカウンター TEL 04-2998-7777

《特別割引チケット》

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付、川崎公演は神奈川芸術協会でも受付、横浜公演は横浜みなとみらいホール、神奈川芸術協会でも受付)

- ◎シニア・チケット＝公演当日65歳以上の方は5席を19,000円、A席を16,000円(税込)でお求めいただけます。
- ◎学生割引(各ランクの半額/座席の指定が可能です) 残席がある場合に限り、5/23(金)10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂きます。)
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。
- ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話・電子機器等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

X(旧Twitter)でフォローする
X@japan_arts

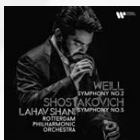
世界中から注目を浴びる俊英、ラハフ・シャニの堂々たる名演

ラハフ・シャニ(指揮) ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団



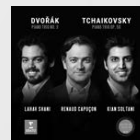
ブルックナー:
交響曲第5番 変ロ長調

(日本語解説書付)
【輸入盤】5419.779201 オープン価格



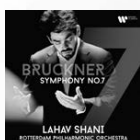
クルト・ヴァイル:交響曲第2番
ショスタコーヴィチ:交響曲第5番

(日本語解説書付)
【輸入盤】9029.547834 オープン価格



ドヴォルザーク、
チャイコフスキー:
ピアノ三重奏曲

ルノー・カピュソン(ヴァイオリン)
キアン・ソルターニ(チェロ)
ラハフ・シャニ(ピアノ)
【輸入盤】9029.552541 オープン価格



ブルックナー:
交響曲第7番 ホ長調

(日本語解説書付)
【輸入盤】5419.761966 オープン価格



ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲第4番、交響曲第7番

ラハフ・シャニ(ピアノ)
【輸入盤】9029.517768 オープン価格

